

保証書

型番 SR-CL500-GY	
★お客様	お名前
	〒 ご住所 電話番号
★販売店	販売店名・住所・電話番号
保証期間 1年 ★お買い上げ年月日 年 月 日	

保証規定

- 取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合には無償修理させていただきます。
 - 修理の際の送料、および諸掛はお客様のご負担になります。
 - 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にお客様名、お買い上げの年月日、販売店名の記載のない場合。あるいは文面を書き換えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合。
 - 取扱上の誤り及び操作上の誤りによる故障および損傷。
 - 表記の販売店、または弊社以外による修理、改造による故障および損傷。
 - 接続している他の機器に起因した故障および損傷。
 - 火災、地震、落雷、水害などの天変地異、公害、異常電圧、指定以外の使用電源による故障および損傷。
 - お買い上げ後の落下や、移送時の落下などによる故障および損傷。
 - ご使用後の傷、変色、汚れ及び保管上の不備による故障。
 - 消耗部品の交換。
 - ご使用者が純正部品以外の部品を使用し、これが原因となって生じた事故等。
 - 本製品の故障による保管物等への損害。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan
 - 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理について

保証期間中の修理、保証期間外の有償修理のいずれの場合も製品をお送りいただき、お預かりしての修理となります。
※出張修理はいたしておりません。

■梱包について

製品を修理・点検のためにお送りいただく際は、輸送中の破損を防ぐため、厳重な梱包をお願いいたします。誠に恐れ入りますが、お客様ご自身で輸送に耐えうる頑丈な箱をご用意ください。
内部梱包材は、新聞紙を丸めたものやエアキャップなどをご使用いただき、輸送中の衝撃を吸収できるよう、できる限り厚めに梱包していただきますようお願い申し上げます。
※輸送時に梱包が原因で製品が破損した場合、有償でのご対応となりますのでご注意ください。

■送料について

センドバック方式（送料相互負担）を採用させていただいておりますので、恐れ入りますが発送時の送料はお客様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。

サポートセンター

☎ **0800-919-3690**（通話料無料）

携帯電話、PHS からのお問い合わせ **022-486-3390**（通話料有料）

e-mail: support@sunruck.com

受付時間：10:00～12:15、13:15～17:00 月～金（祝祭日・夏期・年末年始休業）

<https://www.sunruck.com/>

LINEからお問い合わせ



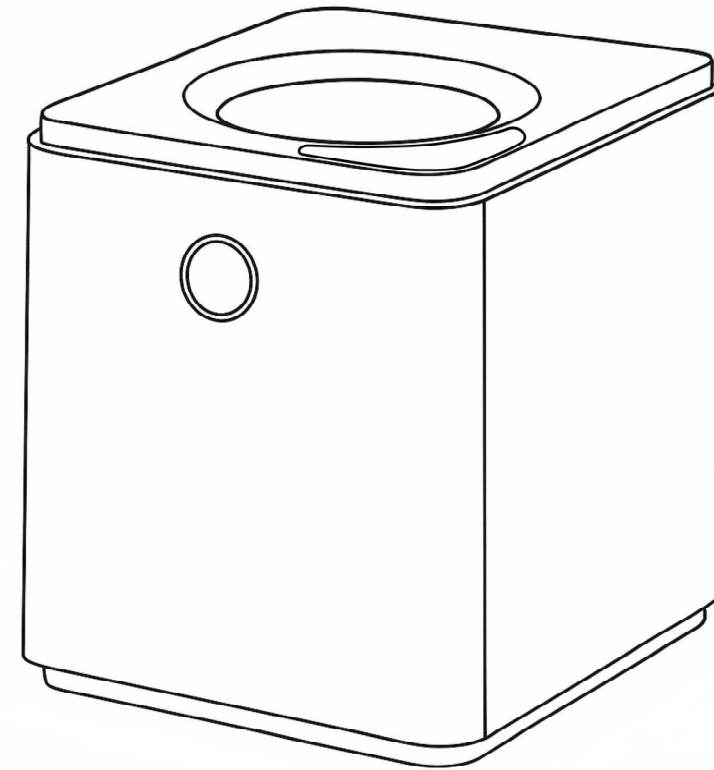
QRコードから友達追加後、メッセージ送信が可能となります。順番にご対応させていただきますので、ご回答にお時間をいただく場合がございます。

Sun Ruck

生ごみ再生機

GREEN CIRCULAR BOX

取扱説明書



この度はお買い上げ頂きありがとうございます。

この製品は家庭用生ごみ再生機です。業務用や生ごみの処理以外の目的にはご使用にならないでください。

この取扱説明書は、本製品の使用上の注意事項及び警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、内容を十分にご理解された上で事故が起こらないように記載内容に従って正しくご使用願います。

また、一度お読みになった後も必要な時にいつでも確認できるようにすぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。

予めご了承願います。

EM20260416L02

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害と財産を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。
お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。



警告

- 植物油・動物系油・美容オイル・石油類・アルコール類・火薬類・粉体類やそれらが付着した紙・布類などは入れない。また本体の近くに置かない。
酸化熱による発火や、引火・爆発の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差し、スイッチの操作をしない。
感電・ショート・火災・けが・故障などの原因になります。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電や、けがの原因になります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合、よく拭いてから使用する。
感電・火災の原因になります。
- 運転中・運転直後は乾燥窯や本体内部を触らない。
運転中・運転直後は本体内部が熱くなっているため、火傷の原因になります。
- 電源コードを傷つけない。電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。
感電・ショート・火災・けが・故障などの原因になります。
電源コードが破損したときは、使用を中止しサポートセンターへお問い合わせください。
(コードの交換は製造業者もしくはその代理店または同等の有資格者によって行います。)
- 本体に乗ったり、子供には使わせない。
感電・火災・けが・故障の原因になります。
- 本体を野外に置いたり、本体に直接水をかけない。
感電・ショート・故障等の原因になります。
- 絶対に分解したり、改造や修理をしない。
感電・火災・けが・故障等の原因になります。

- コンセントや配線器具の定格を超えるような使い方や、交流100V以外での使用はしない。
電圧を間違えたり、たこ足配線等で定格を越えると、発熱により発火する恐れがあります。
- 電源プラグは、交流 100V で「15A125V」と記載されている壁面のコンセントに直接差し込む。
感電・火災の原因になります。
- 乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。
- 生ごみ以外のごみを入れない。
破損・けがの原因になります。
- MAX ラインを超える生ごみ（水などの液体含む）を入れない。
破損・故障の原因になります。
- 改造・分解・修理をしない。
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターに相談してください。
- 運転中に本体の移動・持ち運びはしない。
やけど・けが・故障の原因になります。



注意

- 運転中は排気口に触らない。
運転中は排気口から熱い空気が出ます。触ると火傷（低温火傷を含む）をする恐れがあります。
- 粉じんの吸入に注意する。
脱臭フィルターを交換する際に、粉じんが出る場合があります。
フィルターに顔を近づけすぎると、粉じんを吸入する可能性があります。
粉じんを吸入すると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。
- 持ち運びは十分注意する。
本体の底面から持ち上げてください。蓋を持って持ち上げると、本体が落下し、けが、破損につながる恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引かずに、必ず電源プラグ部分を持って抜く。
コードを破損・感電・火災、故障等の原因になります。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・火災の原因になります。
- 本体に生ごみを入れたまま放置しない。
生ごみを本体に入れたまま放置しておくと、虫の発生や湿気で故障等の原因となります。
- 生ごみ処理途中に生ごみを追加で入れない。
タイマーモード時の場合は未処理の生ごみが発生する場合があります。
また、オートモード時の場合は作動乾燥時間の誤動作が発生し発火の恐れがあります。

設置場所の選定

● 下記のような場所に設置してください。

本体を壁などから 20cm 以上の間隔を確保し、本体上面は開放空間
(本体背面から湿気の高い温かい排気が出ます)

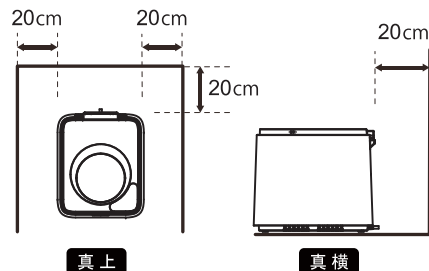
直射日光のあたらない屋内

本体が傾かない水平で転倒の恐れのない場所

床面の強度のある場所

本体の落下の恐れのない場所

風通しがよく、ほこりがたまらない場所



● 下記のような場所には設置しないでください。

屋外 (軒下、カーポートなど)

湿気やほこりのたまりやすい場所

湿気を吸いやすい、畳やじゅうたんなどの上

コンロやストーブなどの火気、高温になる暖房器具の近く

アルコール・石油類やプロパンガスなど、引火しやすいものの近く

使用前・使用中にご確認ください

● 下記のような行為はしないでください。

本体に袋やカバーをかぶせないでください。

本体背面の排気口をふさがないでください。

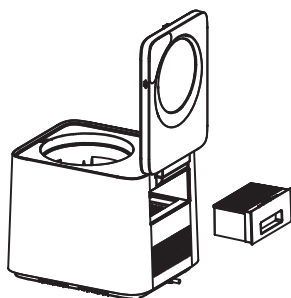
● 活性炭ろ過フィルターのラッピングを外してください。

品質維持のために、活性炭ろ過フィルターをラッピングしております。

ご使用前に、背面のフィルターボックスを取り出します。

網状のカバーを取り外し、内部の活性炭ろ過フィルターのラッピングを外してください。

ラッピングを外した後、フィルターボックスに活性炭ろ過フィルターをセットし、本体に戻します。



ご使用にあたってのお願いとご注意

本製品を正しくお使いいただくために、以下の内容を必ずご確認ください。
想定された使用方法から外れるご使用は、乾燥窯の傷つきや本体の破損、故障の原因となり、製品保証の対象外 (修理・交換が有償) となる場合があります。

■ 投入時のご注意

● 投入しないでください (故障・絡まりの原因)

- ・とうもろこしの芯、とうもろこしのヒゲなど繊維質の多いもの
- ・アボカド、桃、梅干しの種などの硬い種
- ・木の枝や繊維質の強い太い茎 (処理に適さないため)

● 小さく刻んでから投入してください

- ・スイカやメロンの皮などの硬い生ごみ
- ・生花の茎の部分 (花と茎の部分のみを対象とし、小さく刻んでください)

● 他の生ごみと一緒に投入してください

以下のものを単体で多く投入すると、十分に処理ができない場合や、ベタつき・ニオイの原因になることがあります。

- ・大量の卵の殻 / ごはん類などのでんぷん質 / 油分が多いもの

■ 活性炭ろ過フィルターについて

フィルターに装着されているカバー (保護フィルム) は、必ず取り外してからご使用ください。

カバーを外さずに使用すると、本体の変色・変形・破損の原因となります。
※このような使用による故障は、有償での修理対応となります。

■ 運転モードの選択について

水分を多く含む生ごみ (目安として 350g 以上の水分を含む場合)

必ず「オートモード」でご使用ください。タイマーモードでは処理が途中で終了することがあります。

■ 補足事項

キャベツの芯などの硬いものは、細かく粉碎されない場合がありますが異常ではありません。

安全・上手にお使いいただくために

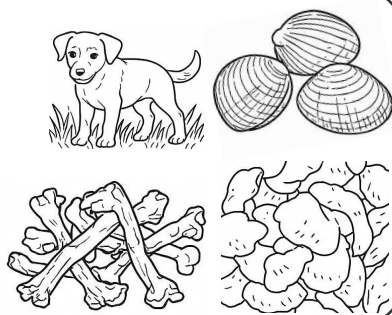
投入可能な物

- ・ご飯、麺類・肉類、魚類・魚の骨(サイズ:約5cmにカットしたもの)
- ・野菜くず・茶がら・果物くず・その他、一般的に人が食べられる食材・調理物



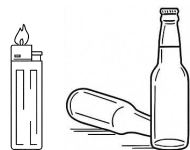
投入不可の物

- ・食品以外の物・多量の柑橘類の皮・紙類
- ・酒類(果実酒、薬用酒など)・動物のふん
- ・アルコール漬けした果実や薬草
- ・硬い貝殻や多量のアサリ、しじみなど
- ・牛、豚、鶏などの硬い骨・木竹製品



発火・火災、爆発の恐れのあるものは絶対に入れないでください。

- ・油等を含んだキッチンペーパーやティッシュ
- ・布類・粉体類・油類、石油類、アルコール類
- ・火薬、薬品類・マッチ・ライター



生ごみに紛れがちな物は投入しないように注意してください。

- ・生鮮品の袋やラップ・束ねている針金や輪ゴム
- ・シールやラベル・割りばし・つまようじ
- ・カップ麺の容器や蓋などの紙のケース



使い方のコツ

下記のような工夫を加えることで、より乾燥効率を高めることができます。乾燥効率が上がり運転時間が短くなることで、電気の使用量を節約することができる場合があります。

- 熱気により生ごみを乾燥させているため、効率よく熱気を与えるために大きい野菜などは、適当な大きさに切ることで乾燥効率が高くなります。
- 最大容量は3Lですが、作業効率を高めるには2~2.5L位が推奨です。
- カレーなどのペースト状のものは、予め洗い流し、水分を少なくすることで乾燥効率を高めることができます。
- 処理量が少ない際、できるだけ敷き詰めるように入れることで、羽根の回転により熱が伝わりやすくなります。
※350g以下のゴミの場合はオートモードセンサーがゴミを検知できないため、タイマーの3時間を使用してください。
- 臭いの強い生ごみを処理する場合は、作業効率が推奨される容量に納める事を勧めます。入れすぎると臭いが漏れる可能性があります。

基本動作

本体正面のボタンを押すと蓋を開くことができます。蓋が開いた状態だと動作しませんので、使用時は蓋を閉めてください。また、動作中に蓋を開けると一時停止します。

背面に脱臭用の活性炭ろ過フィルターがありますので、取り付けられた状態で使用してください。

電源を入れると「ピッ」とブザーが1回なり、スタンバイモードに入ります。しばらくすると、電源アイコンだけが薄暗く点灯し続けます。

電源アイコンを押すと、各アイコンが点灯しモードを選択できます。



本体・乾燥窯の排熱の為、乾燥処理完了後も30分ほど本体が稼働し続けます。排熱完了後から再使用が可能になります。電源を抜くなどして無理に動作を止めることがないようにしてください。排熱が完了すると自動的にスタンバイモードに入ります。
※動作直後の乾燥窯は非常に熱くなりますので、直接触らないようご注意ください。

パネルアイコンの説明



- ①電源
短く押すと、作動中のメニューの一時停止・再スタートが行えます。
3秒程長押しすると強制シャットダウンとなりメニューを選び直せます。
- ②オート
自動乾燥モードに入ります。
- ③タイマー選択
3時間、5時間、8時間の乾燥モードが選択可能です。
- ④クリーニング
20分間羽根のクリーニングを行います。

各モードについて

- Auto** オートモード
生ごみの重さや水分量を認識し、乾燥処理完了後に自動的に停止するモードです。
生ごみの種類や量、状態によって約3～15時間稼働します。
生ごみの量が350g以下の場合、センサーがゴミの状態を検知できない為タイマーモードを使用してください。
- Timer** タイマーモード
動作時間を3時間、5時間、8時間から選択し稼働させるモードです。
時間を選択して5秒ほど待つと乾燥処理がスタートします。
- Clean** クリーニングモード
乾燥窯内の汚れを落とすモードです。
水やぬるま湯と一緒に台所用中性洗剤を入れ、蓋をします。
この時、水は乾燥窯の内部目盛り線の位置まで注水してください。
電源を入れ、パネルの「」を押すと20分間のクリーニングが開始されます。
途中で止めたい時は、もう一度「」を押してください。
クリーニング終了後、乾燥窯を取り出し、水でよくすすぎ乾燥させてください。

乾燥処理物の利用について

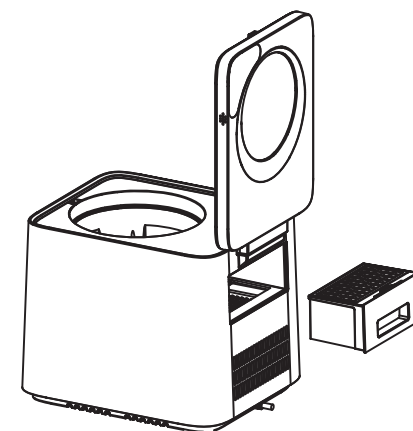
生ごみ再生機で乾燥後、有機質肥料として利用することも可能です。

- 標準プランターの土約12L分に対して、1cm以下に粉碎した乾燥処理物を紙コップ(200ml)8杯分入れ、少し湿らせる程度に水をやり、週に1度程度全体をかき混ぜます。
※硬い固形物は取り除いてください。
※生ごみ以外の物が含まれていた場合、取り除いてください。
- 夏場は1～4週間、冬場は1～3カ月程ねかし、約2～3cm覆土した上に種をまき、散水してご利用ください。

活性炭ろ過フィルターの交換

交換目安は約4～9カ月に1回となります(使用回数90～100回)。
交換時期が来ていなくても、臭いが気になり始めたら、お早めに交換してください。
※ご使用回数、処理する生ごみにより交換時期が前後します。

- 交換方法
本体背面のフィルターボックスを取り出します。
活性炭ろ過フィルターのラッピングを外します。
フィルターボックスから網状のカバーを取り外し、使用済みのフィルターと交換品のフィルターを入れ替えます。
取っ手となるつまみが上部に来るようにしてください。
網状カバーをフィルターボックスに取り付け、本体に戻します。



乾燥窯のシリコンカバー

乾燥窯の取っ手に使用されている耐熱シリコンカバーは消耗品です。
耐熱シリコンカバーが劣化・破損・外れた場合でもカバーの再装着・交換は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。
生ごみ処理中および処理直後の乾燥窯は高温になりますので、耐熱シリコンカバーの有無にかかわらず、必ず窯が十分に冷えてから取り出すようお願いいたします。

お手入れ

●乾燥窯

クリーニングモードで汚れが取り切れない場合は、付属の専用ブラシやスポンジで軽く水洗いしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた台所用中性洗剤を使用してください。

食洗機にも対応しています。

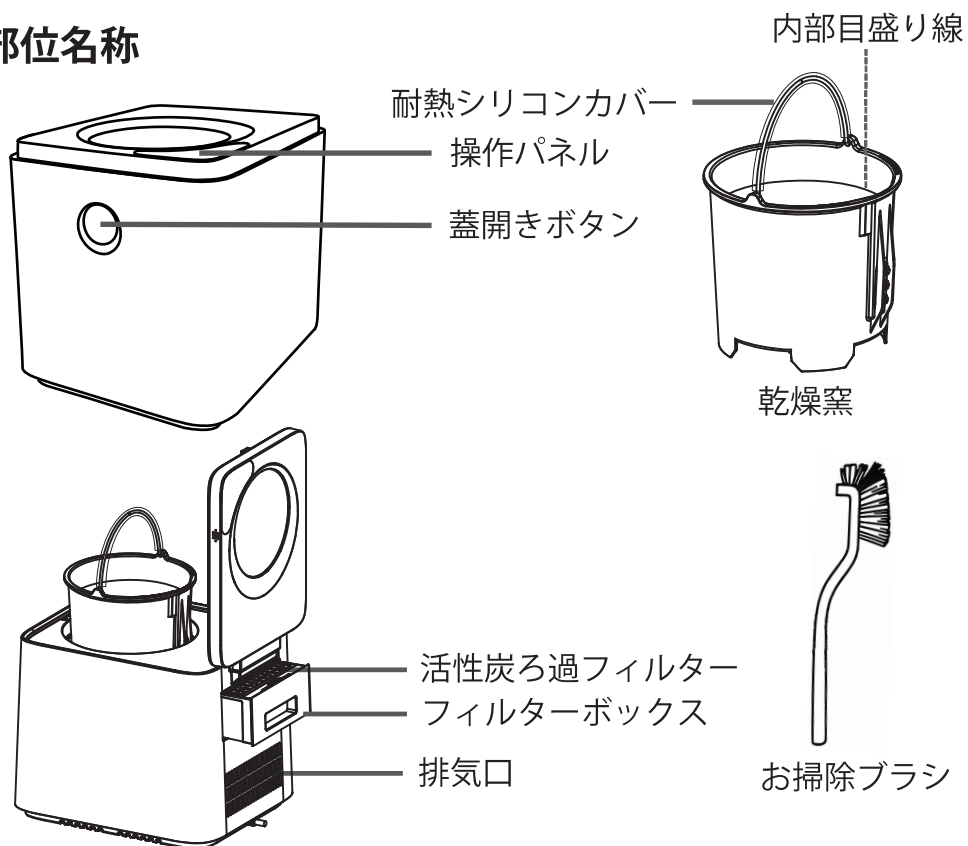
※本体内部に臭いが残る場合があります。掃除はこまめに行ってください。

※乾燥窯は十分に乾かしてから、再度本体に戻してください。

●本体

乾燥処理後は水で濡らし軽くしぼった柔らかい布などで軽く水拭きしてください。汚れがひどく、洗剤を使用する場合は、水で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に浸して軽くしぼって拭き取ってください。

部位名称



商品仕様

商品群	家庭用 電気式生ごみ処理機
サイズ(約)	W285×D340×H295mm
重量(約)	7.6kg
容量(約)	3.0L
電圧	100V 50/60Hz
定格消費電力	500W
タイマー	3 / 5 / 8 時間
コードの長さ(約)	1.9m
騒音値	≤41dB
セット内容	本体 ×1、活性炭ろ過フィルター ×1、乾燥窯 ×1 お掃除ブラシ ×1、取扱説明書兼保証書 ×1

故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、サポートセンターにご相談ください。

症状	考えられる原因	対策
電源ボタンを押しても点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
運転しない 操作パネルの表示が「--」となっている	蓋がロックされていない バスケットが入っていない	蓋をしっかり閉める バスケットを入れる
動作が止まり、操作パネルに「E1」と表示される	生ごみが多すぎる 生ごみが大きすぎる 生ごみが引っかかっている	生ごみの量を減らす 生ごみを小さくする
	本体・バスケットが熱くなり、安全装置が働いている	1時間以上置いて休ませる 生ごみの量を減らす 処理できない生ごみが入っている場合 取り除く
運転時間が長い	生ごみを入れすぎている	内部目盛り線以下に生ごみを入れる
【E4】と表示される	温度センサーの故障の可能性	サポートセンターまでご連絡下さい。